

鏡検トレーニングサービス(基礎コース)

【概要】

課題標本を各自で鏡検し、その後、ディスカッション顕微鏡等を用いて教育担当者と質疑応答・フリーディスカッションを行います。

【対象者】

これから本格的に毒性病理を始められる方、毒性病理の基礎を学びたい方が対象となります。

【期間】

全12回(1回/月、1年で修了)のコースとなります。

【スケジュール】

1回のトレーニングは2日間からなり、午前から午後にかけて終日実施(9:00-17:00)いたします。

(開始時間に関してはご相談の上、決めさせていただきます)。

- 1日目;課題標本の各自鏡検
- 2日目;教育担当者によるトレーニング
(2日目の午前中も課題標本の各自鏡検に当てる場合もあります)。



【内容】

基本的な化学物質誘発性の毒性変化、肝臓、腎臓や精巣などの器官・組織別の毒性変化、卵巣の性周期/毒性変化、神経毒性、病態モデル動物、マウス・ラットの老齢性変化、サルの背景病変などの標本を用いてトレーニングを実施いたします。

【トレーニング課題】

1. 既存化学物質の毒性変化 I
2. 既存化学物質の毒性変化 II
3. 肝毒性
4. 腎毒性
5. 精巣:ステージングと毒性
6. 卵巣:性周期と毒性
7. 神経毒性
8. カドミウムの骨・歯・肝・腎の毒性
9. 造血系病変(マウス・ラット背景病変)
10. モデル動物(糖尿病、関節炎など)
11. 老齢性変化(非腫瘍性病変)
12. サルの背景病変

